



**Grass Valley**

# REXCEED W4000

EDIUS TURNKEY SYSTEM



ユーザーガイド

## **ご注意**

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) Grass Valley、グラスバレー、EDIUS、エディウスおよびそのロゴは、グラスバレー株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (9) Intel、インテル、Xeon、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- (10) SxS はソニー株式会社の商標です。
- (11) DisplayPort および DisplayPort ロゴ、DisplayPort Certified ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標または登録商標です。
- (12) Blu-ray は Blu-ray Disc Association の商標です。
- (13) SD カードは SD Association の商標です。
- (14) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

## 表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は PC の基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的な PC の操作と同様に行ってください。
- 本書では、REXCEED W4000 を「REXCEED」と表記します。
- 本書では、EDIUS Workgroup、EDIUS Pro、EDIUS の各シリーズおよびエディションを「EDIUS」と表記します。
- 本書では、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> operating system を、次のように表記しています。
  - Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 10 operating system は、Windows 10 (Enterprise、Education、Pro、Home の総称)

## 警告

### 健康上の注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

### 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

REXCEED W4000 ユーザーガイド

Copyright © 2022 Grass Valley K.K. All rights reserved.



# 目次

安全に関する注意事項	5
<b>1 ご確認</b>	
ご使用の前に	8
ご使用に当たっての留意事項	8
当社ホームページ	8
<b>2 ハードウェアセッティング</b>	
各部の名称	9
REXCEED W4000 フロントパネル	9
REXCEED W4000 リアパネル	11
プレビュー／キャプチャボード (KONA 1)	12
電源を入れる	12
REXCEED を起動する	12
<b>3 リカバリーについて</b>	
システムのバックアップイメージを作成する	13
バックアップイメージからシステムを復元する	16
工場出荷時の状態に戻す	20
EDIUS のライセンス情報を確認する	24
<b>4 ハードウェア仕様</b>	
ワークステーション本体仕様	25
プレビュー／キャプチャボード (KONA 1) ハードウェア仕様	26




## 安全に関する注意事項

### ◇ 絵表示について












本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。
	<b>注意</b>	ケガをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。











### ◇ 絵表示の意味

	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。
	この記号は気をつける必要があることを表しています。





### 設置について







 <b>警告</b>	
	<b>本製品は安定した場所に設置してください。</b> 本製品が倒れたりすると本製品の損傷やけがの原因となります。
	<b>温度が高くなる場所に設置しないでください。</b> 直射日光の当たるところや発熱する器具の近くなどに置くと火災や故障の原因となります。また、本製品が変形、変色するおそれがあります。
	<b>湿気や油気の多い場所では使用しないでください。</b> 回路がショートし、感電するおそれがあります。
	<b>アースは必ず取ってください。</b> 感電の防止になります。
	<b>AC100V コンセント以外の電源には接続しないでください。</b> 機器の破損の原因となります。
	<b>プラグは根元まで確実に差し込んでください。</b> 差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。
	<b>たこ足配線はしないでください。</b> 火災の原因となります。
	<b>ぬれた手でケーブルの脱着をしないでください。</b> 感電および故障の原因となります。
	<b>プラグは定期的に清掃してください。</b> プラグにほこりなどがたまると、絶縁不良などにより火災の原因となります。
	<b>ケーブルの加工はしないでください。</b> ショートして火災や感電の原因となります。

## 安全に関する注意事項

 <b>注意</b>	
	<b>通風孔をふさがないでください。</b> 筐体内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	<b>極低温、極高温、高湿度の環境で使用しないでください。</b> 機器を破損するおそれがあります。
	<b>ほこりが多い場所では使用しないでください。</b> ほこりが通風孔や内部につまると故障の原因となります。
	<b>長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください。</b> 火災の防止になります。
	<b>ケーブルを抜き差しする場合は、必ず根元のプラグを持ってください。</b> 断線の防止となります。
	<b>ケーブルの上にものを載せないでください。</b> 断線して火災の原因となります。
	<b>本製品を移動する場合は、必ず電源を切り、プラグを抜いてください。</b> 電源を入れたまま移動すると故障の原因となります。
	<b>ケーブル類の設置場所にご注意ください。</b> ケーブル類に引っかかると本製品が転倒したり落下し、機器を破損するおそれがあります。また、落下した本製品でけがをするおそれがあります。ケーブル類を踏むと断線し、火災の原因となります。
	<b>製品付属のケーブル以外は使用しないでください。</b> 火災や機器を破損するおそれがあります。

## ご使用について

 <b>警告</b>	
	<b>煙が出たり、異臭が漂う場合は、すぐに電源を切りプラグを抜いてください。</b> 本製品が故障しています。そのまま使用していると、爆発・火災の原因となります。
	<b>本製品が物理的・機械的に故障していると思われる場合は、すぐに使用を中止してください。</b> そのまま継続して使用すると、爆発・火災の原因となります。
	<b>ぬれた手で機器に触れないでください。</b> 感電および故障の原因となります。

 <b>注意</b>	
	<b>本製品の上に重いものを載せないでください。</b> 筐体に変形するおそれがあります。
	<b>本製品の上に水などの入った容器や金属物を置かないでください。</b> 水などがこぼれたり、クリップなどの異物が内部に入った場合、火災、感電の原因となります。
	<b>本製品に衝撃を与えないでください。</b> 破損の原因となります。
	<b>不用意に端子類に触れないでください。</b> 故障や感電の原因となります。
	<b>お手入れの際は電源を切ってください。</b> 接続する時やお手入れの際は電源プラグを抜いてください。感電や製品故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

# ご確認

## ご使用の前に

### ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む間接損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的および、当社が推奨する使用環境下以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。また、仕様などを変更してご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して、他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオプログラム等に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送またはインターネット送信によって取得する音声・映像）を録音・録画する場合の注意点は、下記の通りになります。

- 著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とするときで、その使用するものが複製または編集をする場合等を除き、その複製または編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、または権利者団体等を介するなどの方法により、著作権者から許諾を受けて、複製または編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾なく複製または編集等をして、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組込む場合も同じ）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください

著作権侵害の可能性は、使用環境によって異なりますので、事前にお客様の顧問弁護士に確認されることをお勧めいたします。

### 当社ホームページ

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページにて発信しています。最新の業務向け製品から EDIUS の活用方法まで、幅広く公開していますので、当社ホームページにぜひアクセスしてください。

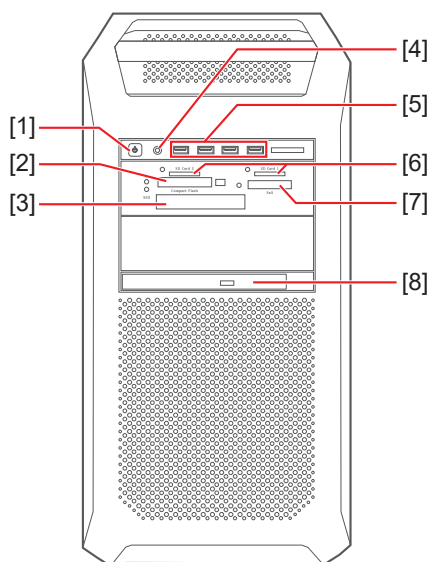
- <https://www.grassvalley.jp/>
- <https://www.ediusworld.com/>



# ハードウェアセッティング

## 各部の名称

### REXCEED W4000 フロントパネル

**[1] 電源ボタン**

REXCEED を起動します。

**[2] Compact Flash スロット**

Compact Flash カードを挿入し、データの読み込みや書き込みを行います。  
Compact Flash カードを挿入すると、左横のインジケータが緑色に点灯し、読み書きを行うと点滅します。

**[3] SSD 専用ドライブスロット**

SSD を挿入し、データの読み込みや書き込みを行います。  
SSD を挿入すると、左横のインジケータが緑色に点灯し、読み書きを行うと点滅します。

**[4] ヘッドセット／マイク端子****[5] USB 3.1 端子× 4**

※ USB 3.1 端子の右横にある SD カードスロットは使用できません。

**[6] UHS - II /microP2 対応 SD カードスロット× 2**

UHS - II /microP2 対応の SD カードを挿入し、データの読み込みや書き込みを行います。  
 UHS - II /microP2 対応の SD カードを挿入すると、左横のインジケーターが緑色に点灯し、読み書きを行うと点滅します。

**[7] SxS メモリーカードスロット**

SxS メモリーカードを挿入し、データの読み込みや書き込みを行います。  
 SxS メモリーカードを挿入すると、左横のインジケーターが緑色に点灯し、読み書きを行うと点滅します。

※ SxS メモリーカード以外の ExpressCard 等は動作しません。

**[8] Blu-ray ドライブ**

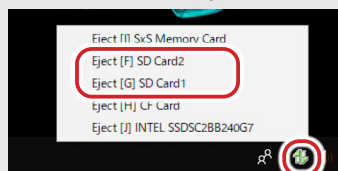
Blu-ray などのディスクを挿入し、データの読み込みや書き込みを行います。CD-ROM、CD-R/RW、DVD ± R/RW、DVD-ROM、および DVD-RAM ドライブとしても使用できます。

**ご注意**

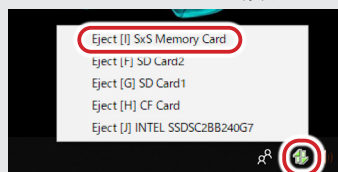
- REXCEED の電源を入れた状態で UHS- II /microP2 対応 SD カード / SxS メモリーカード / Compact Flash カード / SSD を取り外す場合、必ず、ホットプラグツールを使用してメディアの動作を停止させてから取り外してください。メディアの書き込み中に取り外すと、データが破損するおそれがあります。

ホットプラグツールでメディアの動作を停止するには、タスクバーのアイコンをクリックしてメディアを選びます。

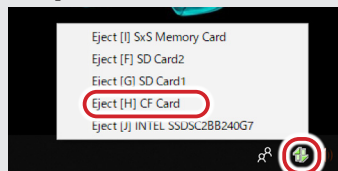
- UHS- II /microP2 対応 SD カードの場合



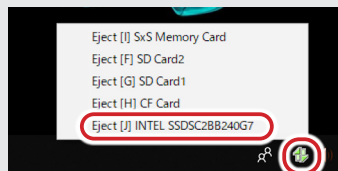
- SxS メモリーカードの場合



- Compact Flash カードの場合



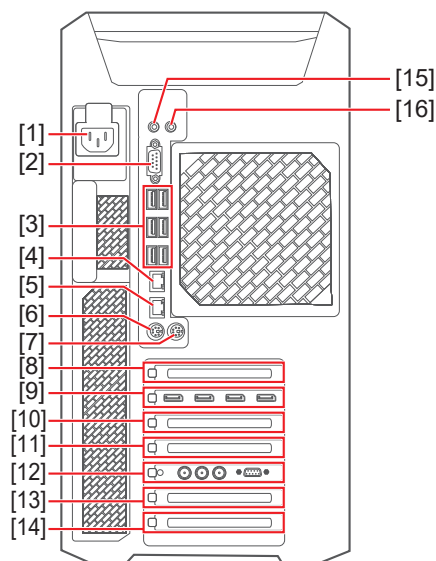
- SSD の場合



- システムの状況によりドライブレターが変更される可能性があります。

## REXCEED W4000 リアパネル

オプション類が装着されている場合は、図と異なることがあります。



### [1] 電源

付属の電源ケーブルを使用して AC 電源に接続します。

### [2] RS-232C 端子 (D-SUB9 ピン)

シリアルケーブルを使用して対応製品を接続します。

### [3] USB 3.0 端子× 6

USB 3.0 対応製品を接続します。同梱のキーボードとマウスの接続にも使用します。

### [4] RJ-45 端子

LAN (1000BASE-T) を接続します。

### [5] RJ-45 端子

LAN (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) を接続します。

### [6] PS/2 端子 (キーボード)

PS/2 端子を持つキーボードを接続します。

### [7] PS/2 端子 (マウス)

### [8] 空きスロット

### [9] グラフィックボード

PC モニターを接続します。

### [10] [11] 空きスロット

### [12] プレビュー／キャプチャボード (KONA 1)

レビュー／キャプチャボード (KONA 1) ▶ P12

### [13] 空きスロット

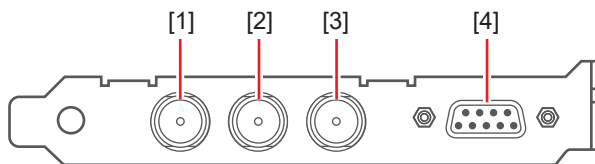
### [14] Media Reader I/F Card

### [15] ステレオミニジャック (ライン出力)

### [16] ステレオミニジャック (ライン入力)

## プレビュー／キャプチャボード (KONA 1)

映像を入出力するための拡張ボードです。



[1] SDI 出力端子

[2] SDI 入力端子

[3] リファレンス入力端子

[4] 未使用端子

## 電源を入れる

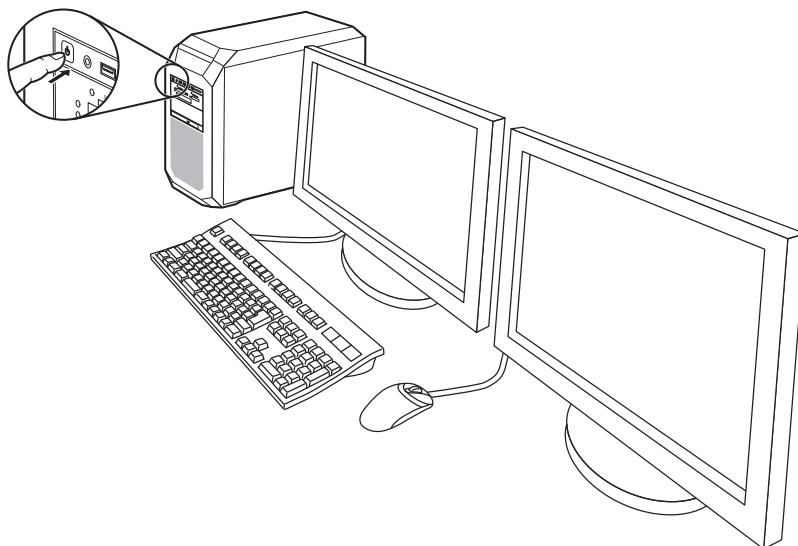
### REXCEED を起動する

REXCEED にモニターやキーボード、マウスなどの周辺機器を接続した後、下記の手順で REXCEED を起動してください。

#### 1 周辺機器の電源を入れる

モニターなど周辺機器の電源を入れます。

#### 2 REXCEED の電源ボタンを押す



EDIUS を使用する場合、プロジェクトの編集を行う前に、Section 3 「リカバリーについて」を参照してシステムバックアップを行ってください。  
リカバリーについて▶ P13

# リカバリーについて

デバイスプリセットの新規登録、プロファイルの作成など、ご使用の環境に合わせて EDIUS の設定を終えた後、必ずシステム環境をバックアップしてください。システムバックアップを作成しておくことで、万一システムがクラッシュした場合でも、ご使用の環境に戻すことができます。

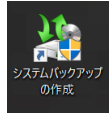
## システムのバックアップイメージを作成する

**ご注意**

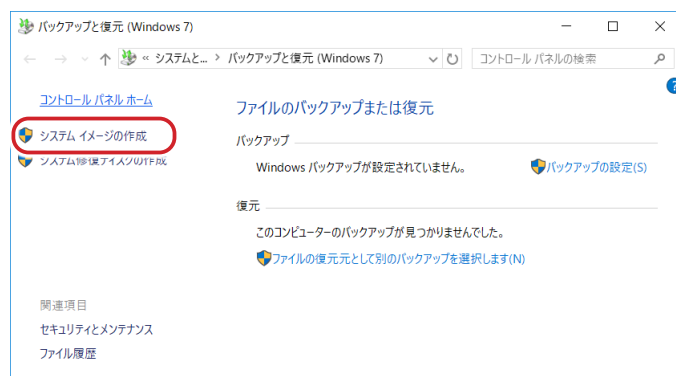
- バックアップイメージの保存先には、外部ディスクドライブを推奨します。データドライブ (D:) にバックアップをすると、システムの起動時間が長くなります。システムドライブのバックアップには 96GB 以上の空き容量が必要です。

**1** USB 端子に外部ディスクドライブを接続する

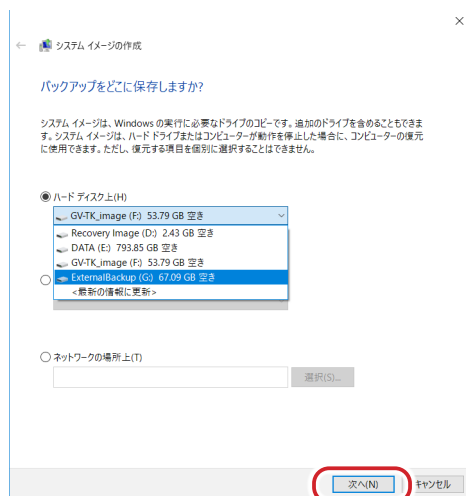
**2** デスクトップの [システムバックアップの作成] をダブルクリックする



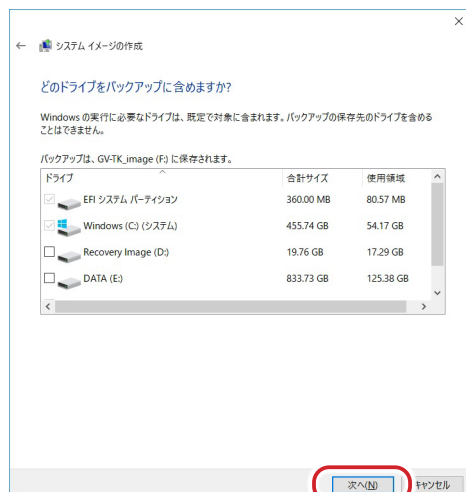
**3** [バックアップと復元 (Windows 7)] が表示されるので、[システム イメージの作成] をクリックする



#### 4 保存先として外部ドライブを選び、[次へ] をクリックする

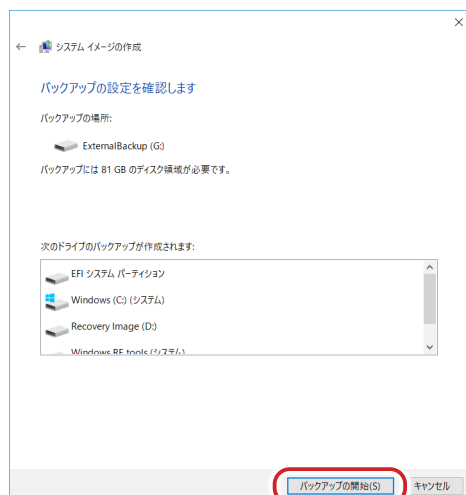


#### 5 何も選択せず、[次へ] をクリックする



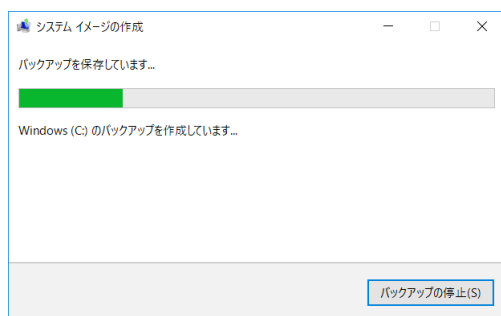
#### 6 設定を確認したら、[バックアップの開始] をクリックする

保存先の空き容量が不足しているとボタンが押せません。その際は、空き容量を確認してください。

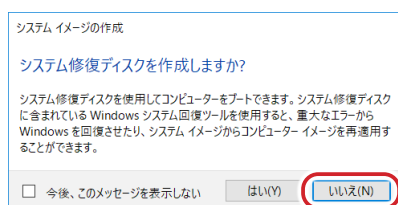


## システムのバックアップイメージを作成する

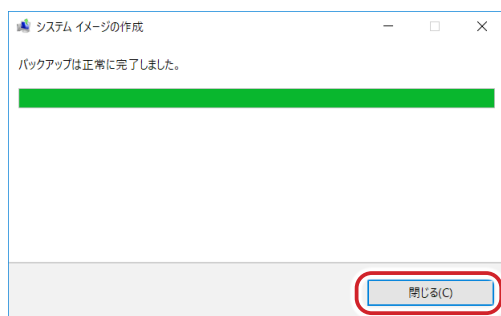
バックアップが始まります。



### 7 システム修復ディスクを作成する旨の確認メッセージが表示されたら、[いいえ] をクリックする



### 8 バックアップが正常に完了したら、[閉じる] をクリックする



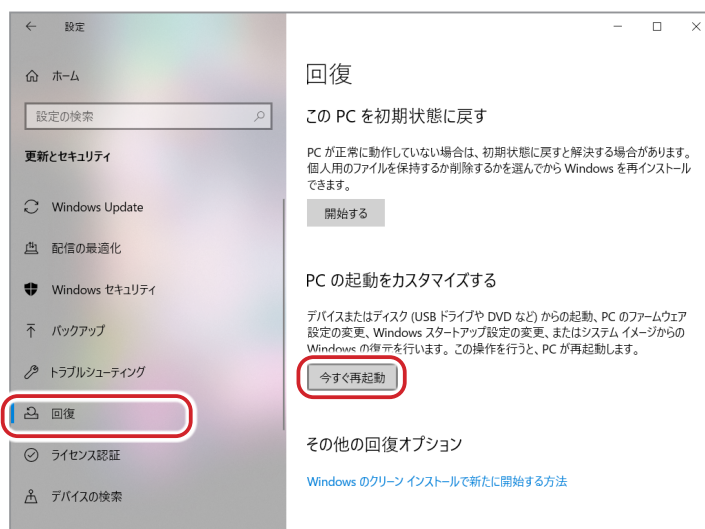
[バックアップと復元 (Windows7)] の画面も閉じます。

## バックアップイメージからシステムを復元する

外部ディスクドライブに保存したバックアップイメージを使用してシステムを復元します。

**ご注意** • OS のバージョンにより、メニュー画面が異なります。

- 1 REXCEED の電源がオフの状態、バックアップイメージが保存された外部ディスクドライブを USB 端子に接続する
- 2 REXCEED を起動する
- 3 OS が起動したら、[Windows の設定] から [回復オプション (PC の起動をカスタマイズする)] を選び、[今すぐ再起動] をクリックする



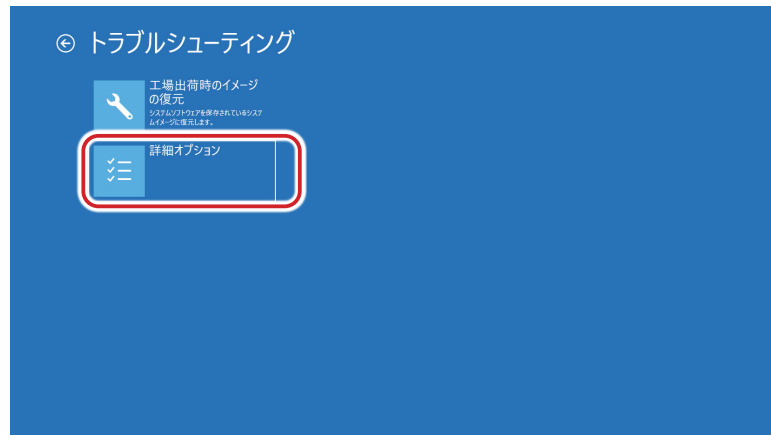
REXCEED が再起動しますので、お待ちください。

- 4 [トラブルシューティング] を選ぶ

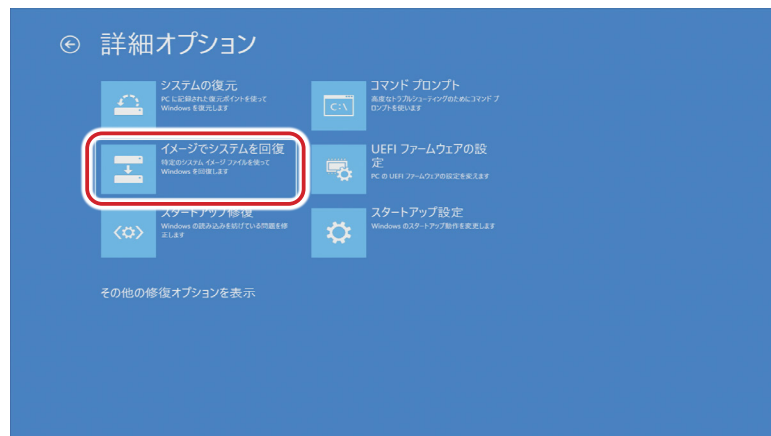




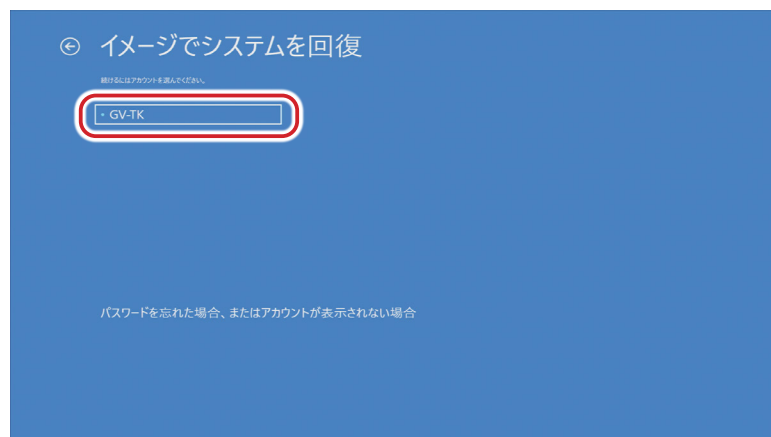
## 5 「詳細オプション」を選ぶ



## 6 「イメージでシステムを回復」を選ぶ

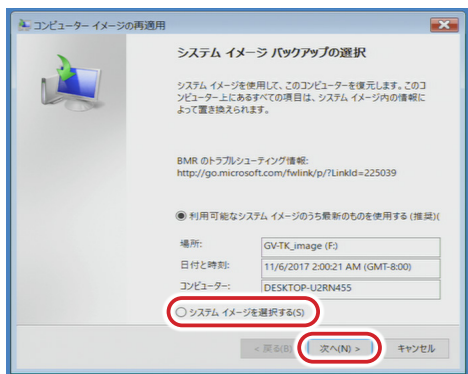


## 7 「続けるにはアカウントを選んでください。」と表示されるので、「GV-TK」を選ぶ

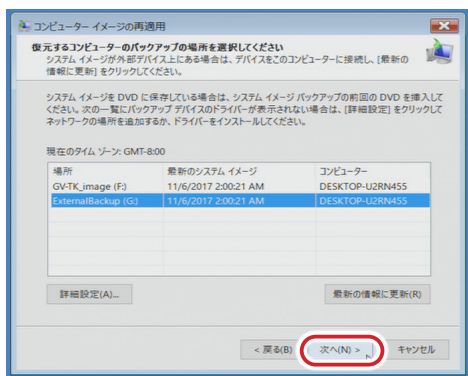


アカウントのパスワードを入力する画面が表示されますが、デフォルトでは設定されていませんのでそのまま続行します。

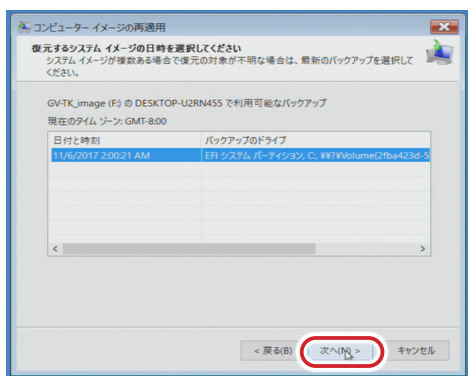
8 [システム イメージを選択する] を選び、[次へ] をクリックする



9 バックアップされたイメージが格納されているドライブを選び、[次へ] をクリックする  
バックアップに使った外部ドライブを接続していない場合は接続し、最新の情報に更新してから、ドライブを選びます。

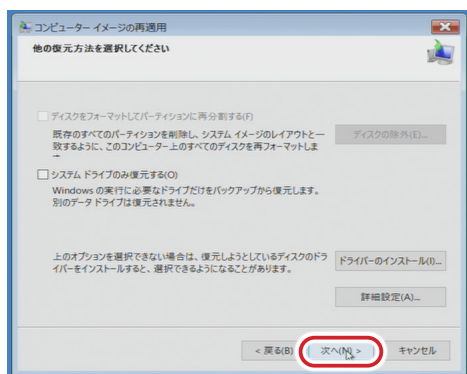


10 バックアップのイメージを選び、[次へ] をクリックする

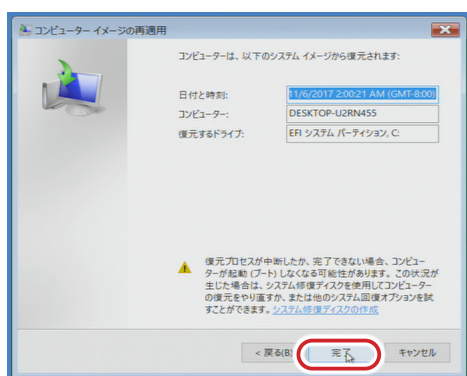


## バックアップイメージからシステムを復元する

### 11 何も選択せず、[次へ] をクリックする



### 12 内容を確認し、[完了] をクリックする

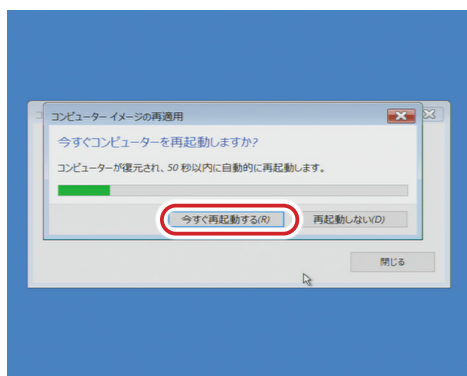


### 13 ドライブ内の復元対象のデータはすべて置き換えられる旨のメッセージが表示されるので、[はい (Y)] をクリックする

復元が開始されます。しばらく時間がかかりますので、そのままお待ちください。

### 14 復元が完了するとメッセージが表示されるので、[今すぐ再起動する] をクリックする

ボタンを押さない場合でも、一定時間が経過すると自動的に再起動します。



REXCEED が再起動し、バックアップした時点のシステム環境に戻ります。

リカバリーを行うと、EDIUS のライセンス情報がクリアされる場合があります。必要であればライセンスの再認証をしてください。

EDIUS のライセンス情報を確認する ▶ P24

## 工場出荷時の状態に戻す

### ご注意

- ご購入時（工場出荷時）のシステムイメージは、添付しているリカバリ用 USB メモリに保存されています。内容はご購入いただいた REXCEED 固有のもので、紛失や取り違えがないようご注意ください。
- OS のバージョンにより、メニュー画面が異なります。

- 1 REXCEED に電源、モニター、キーボード、マウスなど操作に必要な最小限の機器と、リカバリ用 USB メモリのみが接続されていて、それ以外にメディアなどが挿入されていないことを確認する

※ リカバリ用 USB メモリに貼付されている機種名とシリアル番号を確認してください。

- 2 REXCEED を起動する

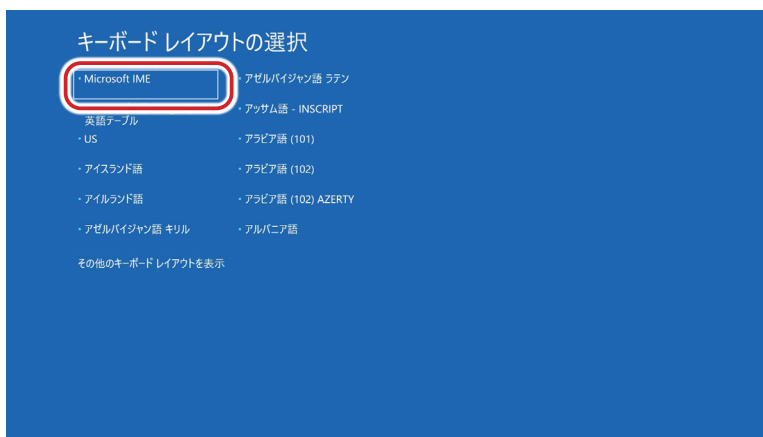
- 3 画面にメーカーロゴが表示されたら、キーボードの [F9] キーを押す

※ ログは長時間表示されませんので、起動時にキーを押す準備をお勧めします。

- 4 ブート選択画面が表示されるので、[UEFI: GH PicoDrive L3 ...] を選ぶ



- 5 [Microsoft IME] を選ぶ



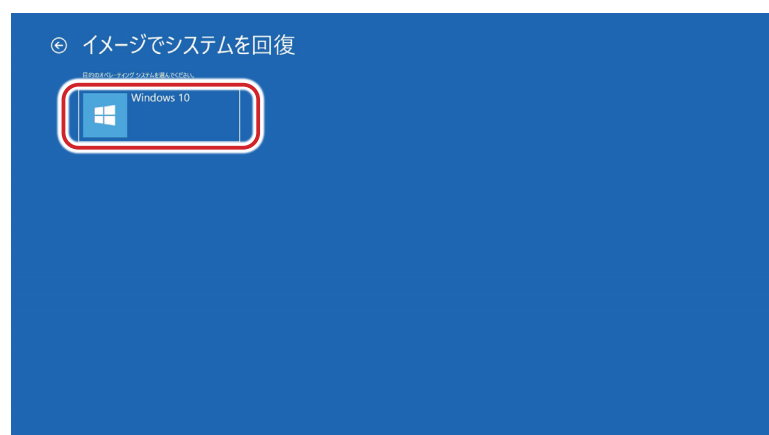
## 6 【トラブルシューティング】を選ぶ



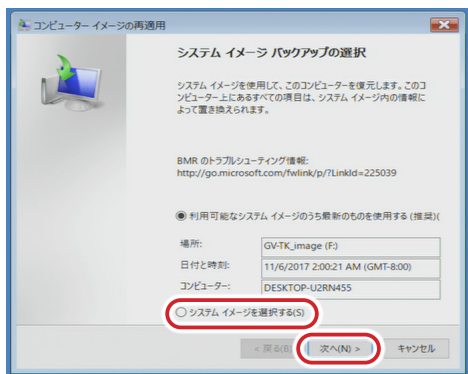
## 7 【イメージでシステムを回復】を選ぶ



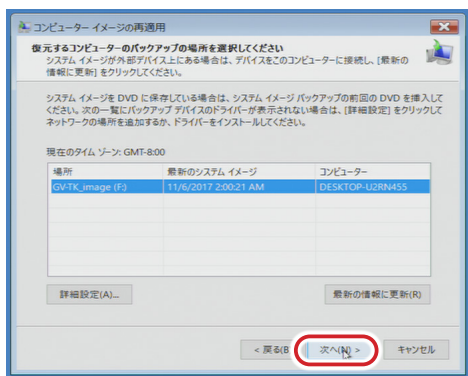
## 8 【Windows 10】を選ぶ



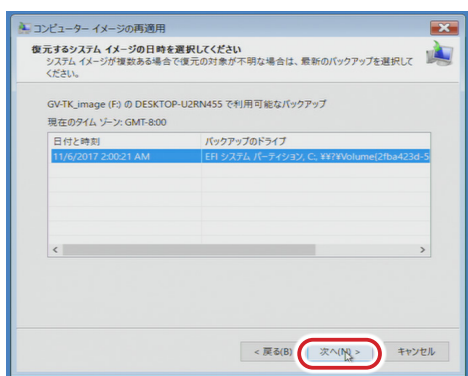
9 [システム イメージを選択する] を選び、[次へ] をクリックする



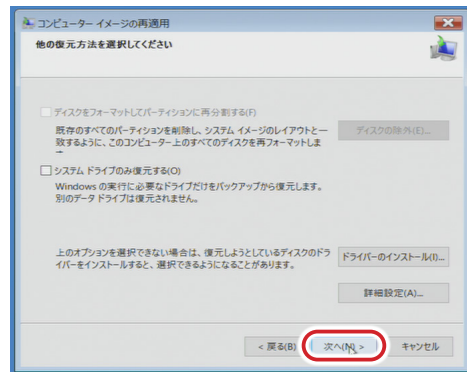
10 ドライブ (GV-TK\_image (F:)) を選び、[次へ] をクリックする



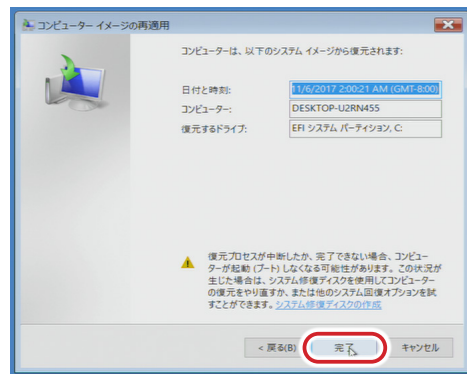
11 イメージを選び、[次へ] をクリックする



## 12 何も選択せず、[次へ] をクリックする



## 13 内容を確認し、[完了] をクリックする

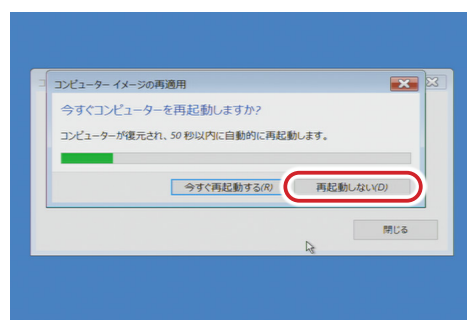


## 14 ドライブ内の復元対象のデータはすべて置き換えられる旨のメッセージが表示されるので、[はい (Y)] をクリックする

復元が開始されます。しばらく時間がかかりますので、そのままお待ちください。

## 15 復元が完了するとメッセージが表示されるので、[今すぐ再起動する] をクリックする

ボタンを押さない場合でも、一定時間が経過すると自動的に再起動します。



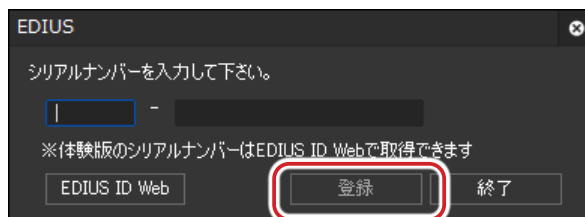
工場出荷時のシステムで REXCEED が起動します。

## EDIUS のライセンス情報を確認する

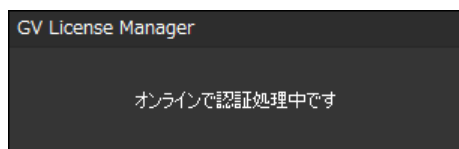
リカバリーを行うと、EDIUS のライセンス情報がクリアされる場合があります。  
リカバリー後 EDIUS を起動した際、手順 1 のような画面が表示された場合は、以下の手順でライセンスを再認証してください。

### 1 EDIUS の再認証が必要な場合、下記の画面が表示されるので、添付されている EDIUS のシリアル番号を入力して [登録] をクリックする

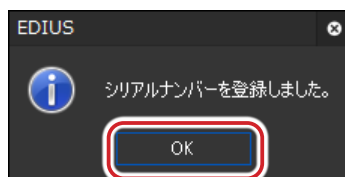
認証には、インターネット接続が必要です。  
シリアル番号は、REXCEED 本体背面に貼付されています。



オンラインで認証処理が行われます。



### 2 [OK] をクリックする



正しく認証が行われ、EDIUS のライセンス情報が再構成されました。

#### POINT

- オンライン認証ができない環境の場合、GV LicenseManager を使ったオフライン認証の機能をご利用ください。詳しくは EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。



Section **4****ハードウェア仕様****ワークステーション本体仕様**

OS		Microsoft Windows 10 Professional 64bit
プロセッサ	Core	デュアル構成 Xeon プロセッサ (16 コア)
	Thread (H/T)	32 スレッド
メモリ	容量	32GB
グラフィックカード		NVIDIA Series
ストレージ	システム	500GB (HDD)
	データ	2TB (1TB HDD × 2 / RAID-0)
光学ドライブ		Blu-ray ディスクドライブ × 1
サウンド (オンボード)		Realtek ALC221 High-Definition Audio
インターフェイス	ディスプレイ	Mini DisplayPort × 4
	ネットワーク	RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) × 1 RJ-45 (1000BASE-T) × 1
	USB	USB 3.1 × 4 (フロント)、USB 3.0 × 6 (リア)
	サウンド	ステレオミニ (ラインイン × 1、ラインアウト × 1、ヘッドセット/マイク × 1)
	メディアスロット	SxS × 1、 SD カードスロット × 2 (UHS-II /microP2 対応) CompactFlash × 1、 2.5" SSD × 1
	シリアル	RS-232C D-SUB 9 ピン × 1
電源		AC100-240V、50/60Hz
消費電力		最大 1125W
動作温度 / 動作湿度		5℃ ~ 35℃ / 8% ~ 85% (結露なし)
外形寸法		216 (W) × 556 (D) × 445 (H) mm (突起物含まず)
重量		約 25.7kg

## プレビュー／キャプチャボード (KONA 1) ハードウェア仕様

機能	信号種別	端子	規格
映像入力	SDI	BNC × 1	SMPTE-259 / 296 / 424
音声入力			エンベデッドオーディオ 16ch (SMPTE 299M / 272M, 24-bit, 48 kHz 同期)
映像入力	SDI	BNC × 1	SMPTE-259 / 296 / 424
音声出力			エンベデッドオーディオ 16ch (SMPTE 299M / 272M, 24-bit, 48 kHz 同期)
リファレンス入力	アナログ	BNC × 1	HD3 値 / SD BB